

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 岡山市立津島小学校 (※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校

教員養成大学  専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫 )

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒700 - 0089

岡山県岡山市津島本町19番1号

E-mail [tsushimas@city-okayama.ed.jp](mailto:tsushimas@city-okayama.ed.jp)

Website

幼児児童生徒数 男子 426 名 女子 380 名 合計 806 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

本校は「豊かな自然と愛あふれる人のまち、津島未来計画」という活動テーマを掲げ、総合的な学習の時間を中心に、環境・国際理解・食・人権・まちづくり(防災を含む)とい現実社会のリアルな課題を自分の問題としてとらえ、その課題の解決策を地球的視野で考え、身近なところから行動を起こす力を育成することである。さらに、その課程で自主的・共同的に課題解決する力、人権・多様性・自然環境を尊重する価値観、持続可能な社会づくりと重ねて自己の生き方を考える力を養うことを目標とした。具体的な活動内容は以下に示したとおりである。

### ① 「環境学習」(5年)

5年では、地域の環境と自分たちの暮らしを見つめ直し、環境問題と自分たちとのくらしのかかわりについて理解を深めた。そして、地球規模の視野に立ち、環境問題の解決や保全のために、自然と共存しながら、自分たちができようことを考え、地域の方々とともに行動していこうとする態度を身につけることができるようにした。主な活動として、地球温暖化防止のために二酸化炭素削減をめざし、緑のカーテンを作成して二酸化炭素削減量を計算するなど、自然環境と共生する体験をした。また、環境団体の出前体験授業を通じて、課題意識を持てるようにした。

## ②「国際理解教育（伝統文化伝承も含む）」（1年・4年・6年）

1年では、昔遊びに関心を持ち、地域の人や高齢者に昔の遊びを教えてもらったり一緒にしたりすることで、昔の遊びの楽しさを体験するとともに、高齢者の優しさやすばらしさに気づくことができるようにした。地域の老人クラブ・愛育委員・交通安全協議会等から、約60人の高齢者の方々が来校し、一緒に活動を楽しむことができた。

4年では、様々な国旗にこめられた意味を調べたり、外国の子ども達の生活や願い・文化の違いや共通点を調べたりする活動を通して、文化は違っても、同じ地球に住む人であることを理解し認め合い、本校の日本語学級の友達に対して、自分にできることを考えて活動し、思いやる心を育成した。

6年では、地球上で困っている人々のために、何ができるかを考えて、募金や古紙回収など、自分たちで活動し、汗を流す体験を通して思いやりの心を育てることができた。

## ③「まちづくり（防災も含む）」（2年・6年）

2年では、郵便局や高齢者施設、公民館などとその周辺を探検することを通して、公共施設や福祉施設などの役割に気づき、くらしやすい町の仕組みや、そこで働く人々の喜びや苦勞にも触れ、地域に関心をもつようにした。

6年では、八朔踊り保存会の協力を得て、子どもたちが自ら踊りを受け継ぎ踊れるようになり、地域の練習会に意欲的に参加したり、夏祭りで披露したりした。また、八朔踊りの由来を校内に広めたりした。自ら地域の伝統文化を受け継ごうとする子どもたちの前向きな姿が育った。

また、地域の防災意識調査の結果より、地域の防災意識の低さに驚き、減災対策を実践する取り組みを行った。自らも家庭で災害に備えると共に、地域にも防災を呼び掛けた。地域の方々とも学区探検を行い、防災対策も意識したよりよいまちづくりを意識することができた。また、学びを通して、情報分析能力や課題解決能力を育てた。

## ④「食育」（3年・6年）

3年では、身近な食材である大豆や大豆食品を取り上げ、自分なりのテーマをもって追求していく中で、「食」に対する関心を高め、食生活の改善のために、自分ができることを考えて実践できるようにした。

6年では、地産地消をめざし、栽培の仕方を地域の方に指導していただいたり、自ら栽培した野菜を使って、地域の方々に手軽にできる夏野菜料理を教えていただいたりした。また、一緒に調理を行い、野菜作りやエコクッキングなどについても意見交流ができた。

## ⑤「人権学習」（4年・6年）

4年では、障がい者や高齢者の方々の思いや考えに関心をもつことができるようにした。車椅子体験・施設見学・交流や様々なメディアの活用を通して、障がい者や高齢者の方々にとってやさしいまち津島にするために大切なことを調べたり、自分にできることを考えて活動したりした。

6年では、地域の老人会との交流を進めた。地域の老人会との交流会を継続的にもつことができ、学校と地域が連携し、地域を活性化することができたのは、大きな成果である。

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(土曜・夏休みなどの時間外活動の時間 )	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

②ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程 (指導計画) にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。(200~300字程度)

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

<p>本校では、総合的な学習を中心に活動を行っている。第6学年での「My Project～今 自分にできること 広げよう行動の輪～」というテーマでの活動が、ESD 的視点で取り組んできた総合的な学習内容の集大成と考え、1・2年の生活科の活動を通して関心や興味を抱き、3年生からの総合的な学習で、さらに自分が抱いた興味・関心・問題意識を深め、5年生からはさら地域・社会の現実問題と自分の暮らしとの関わりを結びつけて考えることができるよう指導計画を位置づけている。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- ③学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項 1-4 に対応

教育課程に ESD 全体計画入れ、年度末には各学年での活動内容を振り返り、成果と課題をまとめ活動の精選や改善を話し合うようにしている。また、次年度へのスムーズな引き継ぎができるように、年度初めには総合(ESD も含む)部会を開き活動内容等の情報交流をもつようにしている。  
また、地域の方や外部講師との打ち合わせや意見交換を重ね、よりよい活動体制が維持できるようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項 1-5 に対応

岡山市が毎年行っている教育アンケート結果より、「地域行事へ参加している」や「今住んでいる地域や岡山市の自然や歴史に興味関心がある」等の質問に対する肯定的な回答が多く、社会科や総合的な学習をきっかけに、地域の自然や地域の方とのつながりを感じ、地域に対する児童の関心が高まってきているといえる。

- (ア) ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

※チェック事項 2-2

第6学年では、1月に自分たちの一年間の取り組みの発表の場として「教育フォーラム」を行っている。自分たちの活動に関わってくださった地域の方々や保護者との意見交流を行った。地域の課題解決に向けて一緒に話し合うことで、卒業後も地域の一員として主体的に関わっていこうという意欲や地域の方とのつながりを感じることができた。

に対応

- (イ) 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)

(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

京山公民館・岡山大学留学生・津島八朔踊り保存会・地域老人会・高齢者施設(虹の郷・淳風会)・アスエコ・梶原食品・愛農食品センター

- (ウ) 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項2-4に対応

本年度の交流・ネットワークの形成はありません。

- (エ) ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項2-5に対応

人や物との様々な出会いの場や体験の場を数多く用意し、それらの体験からの課題設定→調べ学習や実践計画→実践→発信という学習を通して、自分たちの地域を誇りに思う気持ちが高まってきている。

ユネスコスクールに参加しているということで、保護者や地域が活動に協力的であり、地域との連携も継続的に続けることができています。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

平成30年度も「豊かな自然と愛あふれる人のまち 津島未来計画」というテーマのもと、環境・国際理解・人権・まちづくり・食などの現実社会における生きた課題に興味・関心・課題意識を持って取り組み、学び方の習得や問題を解決する力、自己の生き方を考える力の育成を児童にはぐくむために、30年度も各学年の総合的な学習の時間を中心に、本年度と同等の活動を計画している。